

---

# GFA 決算補足 2025/3期

FY25 ハイライト & 財務サマリー



# 決算ハイライト

📈 売上高

**33.11億円**

前年比 ▲20.6%

📊 営業損益

**▲19.6億円**

📄 当期損益

**▲21.4億円**

📊 自己資本比率

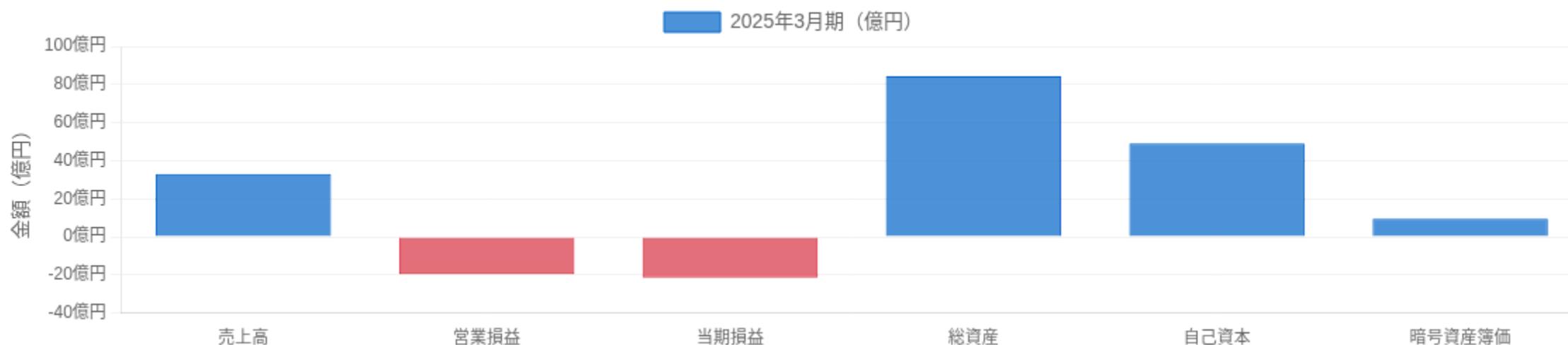
**58.1%**

📊 総資産

**84.3億円**

📊 暗号資産簿価

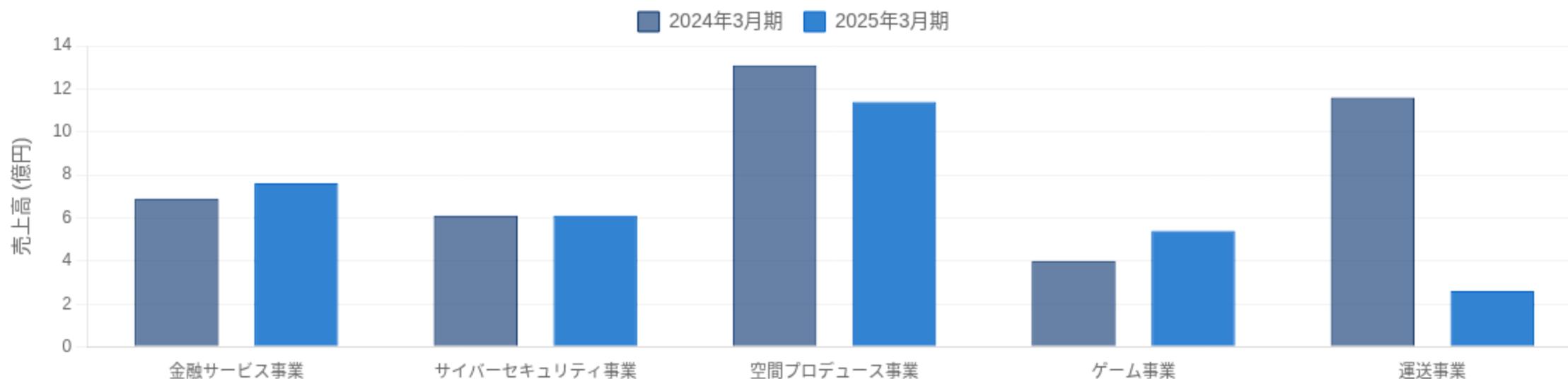
**9.57億円**



## 📌 暗号資産評価に関する補足

暗号資産は取得原価で計上されており、含み益は財務諸表上で未計上となっています。

# セグメント売上比較



**金融サービス事業**  
7.6億円 +10.8%

**サイバーセキュリティ事業**  
6.1億円 -0.1%

**空間プロデュース事業**  
11.4億円 -12.9%

**ゲーム事業**  
5.4億円 +35.1%

**運送事業**  
2.6億円 -77.6%

出典：決算短信 p18 千円→億円換算

# 連結キャッシュフロー（2025年3月期）

キャッシュフロー内訳（2025年3月期）



## ① 資金調達の詳細

当期は増資および借入により資金を確保し、営業CFおよび投資CFの支出をカバーしました。財務CF +59.4億円の主な内訳は、増資による資本調達と金融機関からの借入です。これにより、期末の現金および現金同等物は3.8億円となりました。

# バランスシート要点

自己資本比率

**58.1%** +56.5pt

前期: 1.6% → 今期: 58.1%



総資産 & 自己資本

**総資産 84.3億円**

↑ 自己資本 49.0億円

📈 前期比 +48億円増加

エクイティ調達と子会社株式売却によるキャッシュフロー改善

有利子負債 & D/E比率

**25.4億円**

📉 D/E比率: 0.52



↓ ネットD/E比率の大幅な低減

暗号資産簿価

**9.57億円**

⚠️ 含み益未計上

📄 取得原価で計上され、潜在的な含み益は貸借対照表に反映されていません

期末現金

**3.8億円**

✅ 安定的な流動性を確保

📁 資金効率の向上

🛡️ 財務安定性

必要運転資金  
確保済み

投資余力  
戦略的配分

流動性  
適正水準

## 🔄 財務体質の転換

📈 **自己資本増強**  
エクイティファイナンスによる48億円の資本増強

📉 **D/E比率の改善**  
子会社株式売却による負債比率低減

🛡️ **黒字体質への転換**  
会計基準に依存せず安定黒字を創出できる財務体質へ

# 暗号資産の評価方針と会計処理

## ミーム系トークン

現在の評価方法

### 取得原価評価

活発な市場が存在せず、公正な時価評価が困難なため、取得原価での計上を継続

- 市場流動性の不足
- 取引量の少なさ
- 客観的な価格評価の困難さ
- **含み益は未計上**

VS

## BTC等の主要暗号資産

現在の評価方法

### 公正価値評価

十分な流動性と市場取引量があり、客観的評価が可能のため、公正価値評価を継続

- 活発な市場の存在
- 大量の取引実績
- 価格透明性の確保
- **市場指標に基づく客観的評価**

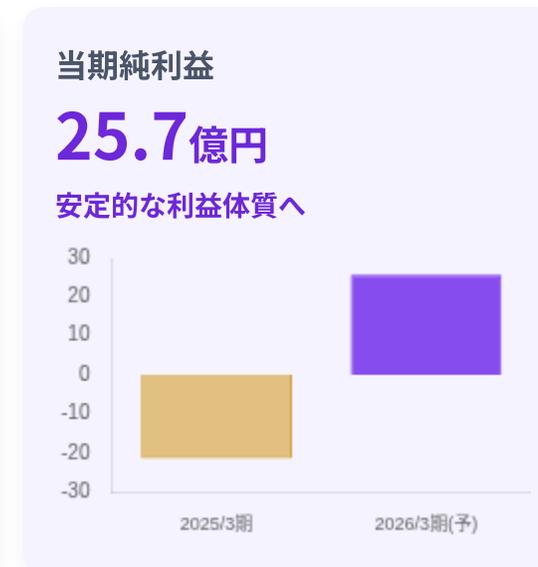
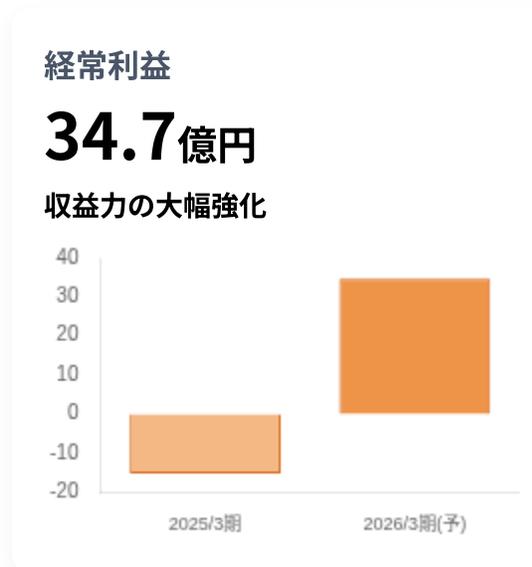
## 会計上の課題と今後の対応

活発な市場の定義と判断基準の明確化に向けた継続的な情報収集と分析

各種会計基準における暗号資産評価の考え方の研究と当社環境への適用検討

監査法人と連携した透明性の高い評価方法の継続的な改善と情報開示の強化

# 2026/3期 業績予想



## 黒字化ドライバー

**暗号資産ディーリング拡大**  
 暗号資産(ミーム)の時価評価への取り組み及び確定利益の創出

**ウェブスリー開発案件**  
 ウェブスリー開発案件の積極的な受注と技術開発の加速

**不動産リカバリ**  
 不動産事業の回復と新規プロジェクト推進

**新規子会社の貢献**  
 エムワンとGCM S1証券の新たな収益源確保

**利益体質強化のポイント**

- 2025年3月期に引当金を一括計上し、将来的な財務リスクを低減
- 圧迫要因となっていた子会社の売却による収益構造改善

**会計基準に依存せず安定黒字を創出できる財務体質へ転換**

- 営業利益の黒字化
- 収益構造の改善
- エクイティファイナンス活用
- M&A投資の推進

エクイティファイナンスと借入による資金確保を行いながら、新たな法人取得など連結業績の更なる黒字体質の経常化と推進を行います。